



湧雲

第8号
2016年8月30日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
16,890名

デザイン・印刷・SALAT (株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel:079-284-1380 http://www.salat.co.jp

第6回の卒業記念植樹開催される

第68回(平成28年3月)卒業予定者

参加者 岡戸校長・松本教頭・岡田先生 田中先生
生徒 一組：葛西 敏哉 柴垣 健吾
二組：井田 満彦 村澤 良亮
三組：定岡 龍輝 松田 愛海
四組：小林 京椰 松本 拓磨

同窓会・坪田、堀川、岡部、篠原、寺下、
妻神、石川、藤井、溝口

空知総合振興局 森林室砂川事務所長・石川 博道



心配された天候も何とか持ちこたえた記念植樹となった。昨年より一週間遅れだったし、強風に何度か見舞われたこともあって紅葉した葉は飛ばされて道路に厚く積もっていた。晩秋の山の風情は、やや重くはあるが奥が深い。

昨年引き続き、校庭に植わっているミズナラのドングリを拾って隣の斜面に蒔いて林を抜げるといふ予定であったが、山親爺が嘆くほどのドングリ不作。紋別では前代未聞の40kg超の山親爺捕獲のニュースも伝えられたがそちらはデントコーン畑に住み着いた肥満ヒゲマの話題。そんな訳でドングリ時きは後輩への宿題とする。

リーへと気持の良いバス旅となる。風は少し肌寒い。一方、越冬作業は好天に恵まれた午前中に順調に進み、穴掘り、看板設置などの植樹の受け入れ準備も早めに終了したので、生徒を待つのみとなる。

朝食の席は眺めの良い場所に戻りザブザブと昨年と同様に満席の中でこの一角だけは多少場違いの雰囲気ではあるが美味しいお昼の食事が始まる。簡単に本日のスケジュールを説明。「植樹の前に食事」などと駄洒落を飛ばし、ご飯もお代りが済んでコーヒータイトム。食事は早めを終了。客は来るし間が持たないし、なのでバスが来るまで全員外に出て付近を散歩。放たれているヒツジと戯れたりして、寒い中で時間をつぶす。

このような取り組みをしている当委員会を賞賛、激励していただいた。植樹に際しての説明を終えて植え込み作業に掛かる。4人1組になって土を寄せる。廻りに水を注いで根と土の間にすき間が出来ないように灌水を行う。添え木は既に立てられていて、後はしっかりと縄で苗木を固定して植樹は終了となった。全員で集合写真を取り記念植樹は終了となった。

本来ならばバスですぐに帰るのだが天候も持ちこたえているし、うつつすらとだが平野部も見えることからバスで沖里河山へ。頂上から学校の場所を何となく確認。芦別方面の景色を眺め、全員で記念撮影をして頂上を後にし、駐車場のバスへと向かって階段を下りたのであった。本日、天は誰であろう我らに味方をしてくれなことを記しておく。下山の間もなくしてバスはワイパーを動かし始めていたから。

委員長から挨拶。本日の開催に対して同窓会長に代ってお礼を申し上げる。6回目となること。シナノキを植えること等説明がある。引き続き特別参加の空知総合振興局 森林室・砂川所長の石川さんから植樹の心得と植樹の仕方を話して下さる。更に挨拶の中で

毎回のことだが今回も思い出の残るものとなった。委員会も試行錯誤の中で今日まで来ているが年々段取りも良くなって事業としての感触は良い。



白樺は空に向かって立つ

を前倒しで進めることにする。学校前では岡戸学校長、松本教頭、岡田先生、田中先生に生徒男子7人女子1人は時間前に集合。バスに乗り込んでマザーズカント



集合写真



シナノキ



沖里河頂上にて

同窓会親睦ゴルフ大会 同窓会親睦ゴルフ大会初開催

末尾「8」期による「同窓の夕べ」の実行委員会の終了後に親睦ゴルフコンペの話が再熱。大西会長の長年の希望もあって、18期の松本 豊さんと28期の成田雅敏さんが言いだしっぺということで幹事として白羽の矢が当たりお世話をお願い開催の運びとなった。

参加者46名。前日の雨予報から心配されたところだったが、参加者の熱意で競技終了まで雨は持ちこたえられ終了後もなくして雨が降り出したということで同窓生の皆さんの熱意の程がご理解いただけるだろう。

スコア表は「同窓の夕べ」の待合ロビーに貼りだされ見入っていたが、掲示に好評な人も不評な人も来年の雪辱を期する人同士で健闘を称えあっていた。「同窓の夕べ」には参加できなくてもゴルフのみの参加者が



成績発表

いるということも大変結構なことですが、それぞれの楽しみ方で同窓の絆を強めていくことが重要だと思えます。大西会長も末永くこの大会が続いていくことを望んでいました。

今後は担当期を中心に計画が練られるようです。因みに輝かしい第1回の優勝者は佐々木康宏(27期)さんでした。第2回からは優勝者は「同窓の夕べ」で表彰することになりました。

宮脇記念桜—宮脇さん訪問記—

5月11日にお電話をいただいて開花状況をお尋ねになられたので、天気予報も良いこと、開花状況も10日には3本ある真ん中の一本が開花。11日朝には気温上昇から3部咲きになったのを確認していたので14日が最良とのことでお返事をさせていただきました。



5月10日開花

初回のご寄付に応える形で植樹した「釧路八重」ですが、この桜を見に来ることを毎年非常に楽しみにしておられることです。毎年欠かさず学校に訪問した後、会社の方に寄っていただいていたのですが、今回は午後から山での開花はしずしの作業があることもお伝えしたところ、午前中に間違いなく行きます、とのこと。今まで咲き終わっていたことが多かったことから事前に確認の電話を入れていただいたの来訪となりました。

と云うことで、今年は5月14日に深川に到着いたしました。到着してすぐに「大変お世話をかけています」と7度目となるご寄付を手渡されました。お断りすること

今回の記念DVDにはこのことを記して残したいと思えます。同窓会事業というよりも宮脇先輩の思いをDVDに込めたいと思えます。



桜に見入る宮脇さん

緑の学びや運営委員会では今までのご厚意に応えるために彩り美しい「紅花ヤマボウシ」を1本植栽する計画です。委員会の夏季研修で長沼町・石田農園で育成していた成木を確保しました。来年の6月20日には紅色の彩りが見られます。多分!!

2016/5/14

深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

<27年度・事業報告>

昨年報告済み

- ◎ 27.01.01 2014年度事業報告書及び礼状集編集始め
 - ◎ 27.02.19 27年度第一回運営委員会開催
役員改選で委員長交代。委員の交代あり
2014年度事業報告書及び礼状集発行し配布
ヤマボウシの雪囲い取はずし
 - ◎ 27.04.13 校庭の雪囲いのナワはずし
- #### 未報告分
- ◎ 27.05.05 釧路八重桜開花
 - ◎ 27.05.08 山で春作業 雪囲い撤去、防除作業
 - ◎ 27.05.11 宮脇氏よりご寄付あり(100万)
 - ◎ 27.06.12 シュリ桜開花
 - ◎ 27.07.15 ミズナラ幼木マーキング
 - ◎ 27.08.16 ミズナラ幼木マーキング
 - ◎ 27.08.16 サンカヨウ等山野草の種、現地に播種
 - ◎ 27.08.24 アオダモ、ミズナラ植林地草刈(森林組合)
 - ◎ 27.09.07 一部笹刈り作業、看板整備
 - ◎ 27.09.17 植樹会場等現地地下見
 - ◎ 27.10.18 秋季越冬作業(坪田、堀川、岡部、篠原、寺下、妻神、石川、溝口)
(空知総合振興局 森林室砂川事務所・石川所長) 合わせて

第6回卒業記念植樹を行う「シナノキ」

- ◎ 27.10.25 校庭木越冬作業
 - ◎ 27.11.01 秋作業殺鼠剤確認、追加作業
- ### [28年]
- ◎ 28.04.02 雪囲いはずし。校庭
 - ◎ 28.04.07 第一回運営委員会(富士屋) 12名
村中委員参加
記念植樹現状確認 つぼ足
 - ◎ 28.04.20 岡部専門委員育成の寄贈ヤマボウシ5本の顕彰銘版設置
 - ◎ 28.05.04 校庭の桜 開花
 - ◎ 28.05.10 釧路八重 開花

<28年度・事業計画>

[校舎周辺]

- ◎ 母校の植栽木の生育、安全等の確認(雪害等)
- ◎ 10年計画による植栽木、老木を更新する予定。
イチイの補植か移動
- ◎ 宮脇サクラの管理

【記念植樹地】

- ◎ 記念植樹の桜の追加と管理
 - ◎ 現地整備 駐車場の確保・植栽周辺の環境整備
 - ◎ 植樹後の管理作業
 - ◎ 植生、植栽木調査
 - ◎ ドローンによる俯瞰画像撮影
- ### 【同窓会林】
- ◎ 希望者対象者の修練道場、湧雲の白樺見学サポート
 - ◎ 湧雲の泉の管理・・・水質検査の実施
 - ◎ 間伐地の管理、作業道の管理
 - ◎ 学校林作業道の排水管理
 - ◎ 植生、植栽木調査
 - ◎ ドローンによる俯瞰画像撮影

【卒業記念植樹】

- ◎ 第7回の卒業記念植樹(69回生)
10年サイクル植樹表作成

【研修会等及び啓蒙事業】

- ◎ 林産試験場視察
(樹種判定の勉強会・ヤマボウシ等の成木研修・卒業記念植樹等の樹種調査)
- ◎ 参考図書配布
- ◎ 資料作成(植生等の)
- ◎ 他団体と協賛事業「山野草を巡る集い」 随時対応



作業を終えて

第1回緑の学びや運営委員会 及び 新委員顔合わせ

2016/4/7 PM6:30 プラザ富士屋
出席者：岡部・坪田・堀川・妻神・石川・寺下・三上・村中・篠原・平田・溝口

遅ればせながら第1回の委員会を開催した。冒頭、村中新委員を迎え、大西同窓会長代理で坪田委員長より村中委員に委嘱書の伝達を行う。会議は校庭のイチイの移植の検討。ドローンによる俯瞰画像の確保。卒業記念植樹の樹種の10年サイクル固定化を進める等々。春、夏、秋等の事業は例年通り推進することで理解を頂く。

懇親会に先立って過去の宮脇氏からの寄付経過を説明し「釧路八重桜」の管理に意を注いでいることに、再度、委員各位に理解をお願いする。又、岡部委員より校庭に寄贈植栽された「ヤマボウシ」については出自元をしっかりと残したいとのことから顕彰板を作成、揮毫を三上委員をお願いしてあることを報告。

昨年の委員の交代と今回の村中委員の参加に顔合わせを兼ね、さらに岡部専門委員の晴れある「さくら功労賞」受賞報告をあわせて小宴を行う。岡部委員の受賞は当会にとっても誉れ高いことから喜ばしく、楽しい顔合わせ会となった。

堀川副委員長の音頭で今年の実業の遂行に協力をお願いして乾杯。入志別川岸から調達のフキノトウの香りをてんぷらに封じ込め、一己の藤井宅のニラや出始めた深川産アスパラなどに春を堪能して時間は過ぎていった。篠原委員の締めで今年の作業の成功を誓い合った。

【朗報】 昨年まで緑の学びや運営委員会の委員長として当校の「さくらの森」構想にも尽力を頂きました岡部誠二氏(7期)が市内外のさくらの植樹や苗木の育種に尽力されたことから由緒ある「財団法人・日本さくらの会」より2016年4月14日「さくら功労者」としての個人表彰を授与されました。(※日本さくらの会は1964年(S39)9月29日設立 会長は衆議院議長)

母校支援事業

〔祝・全道大会出場〕の横断幕作成

7月15日引き渡し
野球部の全道大会出場に際して横断幕を張り出そうとしたが、以前あった幕がどこにも見当たらず再度作成することになった。試合が18日から始まることから急遽間に合う様に作成してもらう。

15日午前9時、あいにくの曇り空ではあったが無事フェンスに設置することが出来た。すぐに取り外しがきくので会場にも持って行くことも出来るので使い勝手がいい。

横断幕のトッピングに野球部、バドミントン部、卓球部、バレーボール部、バスケットボール部、ソフトテニス部、弓道部、陸上部、水泳、美術部、写真部、放送部と、合計11枚の看板も作成し各部が出場の都度、追加掲示することが出来るようにした。



横断幕

同窓会総会開催報告

平成27年度事業報告

自・平成27年4月1日
至・平成28年3月31日

1、会議・行事に関する事項

〔平成27年（2015）〕

4月8日・平成27年度（第70回）
入学式・入学生126名

4月20日・役員会

4月27日・第72回定時総会 参加者46名



2015年9月26日



2015年7月16日



2015年12月23日



2015年10月31日



2016年5月7日



2016年1月27日

4月30日・転入教職員歓迎会
転入者7名

7月31日・役員会

9月30日・同窓会会報第7号発行

10月18日・第6回の卒業記念植樹
挙行（第68回生）「シ
ナノキ」

〔同窓の集い〕

8月7日・第1回同窓の集い打合
せ 末尾8期 実行委
員長・宮岸徹二さん

9月10日・最終打ち合わせ 券集
約等

9月19日・同窓の集い
参加者・206名

同日、第1回・同窓親睦コ
ルフ大会開催

11月11日・同窓の集い反省会

〔平成28年（2016）〕

2月26日・同窓会入会式
入会者158名

3月1日・第68回卒業式
卒業生158名

3月24日・転出・退職教職員送別会
転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名

3月24日・転出・退職教職員送別会

転出及び退職者8名



〔参考〕

28年4月20日・会計監査

28年5月9日・役員会

2、会報の編集

①8月30日・第7号発行
（通算・第17号発行）

3、母校の後援に関する事業

①10年計画による前庭の植栽の点検
（8年目）

②体育系、文化系共に全国大会、全道
大会へ出場する生徒へ支援

③10月18日・卒業予定者8名による記
念植樹「シナノキ」

④プレス幕の貸与。会旗、部旗、健闘
幕作成貸与

全道大会出場の横断幕作成の他、各部
の看板11枚作成（2015/7/15）

⑤その他

4、会員相互の親睦、交流に関する事業

①同窓の夕べの開催（上記報告済み）

②各支部現況報告（同窓会会報にて報告）

③各期の動き（同窓会会報にて報告）

④親睦交流ゴルフ大会の開催

⑤その他

5、同窓会林に関する事業

①同窓会林訪問は今期も中止

②同窓会林、湧雲の泉、修練道場跡地、
湧雲の白樺、卒業記念植林地「桜
花爛漫」林地等の維持管理

③校庭の樹木管理。

④その他

6、同窓会林に関する事業

①「緑の学び舎運営委員会」の運営

②森林組合との情報交換、連携強化

③その他

④その他、本会の目的達成のため必要
な事業

平成28年度事業計画

自・平成28年4月1日
至・平成29年3月31日

1、会議・行事に関する事項

例年通り実施

2、会報の発行・名簿の作成事業

①第8号の発行予定

②会員名簿の発行（2018年発行予定）

3、母校の後援に関する事業

その都度、必要に応じて対応

第7回卒業記念植樹の開催：10月9
日を設定

第60回全校コーラス大会記念DVDの
作成

4、会員相互の親睦、交流に関する事業

①同窓の集い実施

○日程・平成28年9月17日（土曜日）

○実行委員会の構成・末尾「9」期
実行委員長 寺下良一（19期）さん

②各支部との連携の強化、特に札幌
写真パネルの貸与・会報の送付・プレ
ス幕、開魂旗、開魂幕の貸与、その他

③各期の動向把握の強化

④各期の幹事の確認作業推進

⑤HPの更新作業、深ナビへの情報更新

⑥その他

5、同窓会林に関する事業

①「緑の学び舎運営委員会」の運営

②森林組合との情報交換、連携強化

③その他

④その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑤その他

⑥その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑦その他

⑧その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑨その他

⑩その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑪その他

⑫その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑬その他

⑭その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑮その他

⑯その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑰その他

⑱その他、本会の目的達成のため必要
な事業

⑲その他

⑳その他、本会の目的達成のため必要
な事業

各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

先輩も九十歳からの年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。



を引継ぎ札幌で集っているが、集るのが難しくなってきたため記念のエッセイ集を二集出版した。
(別頁記載)

睦を深め無事を確認し励ましあっています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十五年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。
(佐藤 範子)

日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年深川で連続開催。
(別頁にて詳細掲載)
(岡部 誠)

月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。(別頁にて詳細掲載)
(山森世津子)

【十二期】(西高三十五年卒同期会)
十三年秋、選歴同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。
(板倉 克宏)

【十三期】(三六会・サボロウ会)
H十年HP開設 M L (倉山昭男)
<http://www2.big.or.jp/~yyclub/>
<http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>
十四年六月選歴記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催予定。
(佐藤 豊秀)

【十四期】
十六年五月選歴同期会を開催。深川ホテル
二十年二月天人峽パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を五月、九月に開催。首都圏同期会を十月に開催。(別頁にて詳細掲載)
(堀川 勝之)

【十五期】(深西三八会)
代表・菅原明義
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十二年なので、その間で一回開催予定です。
(杉山 一成)

【十六期】(深川西校第四期生同期会)
代表・宮脇 敬
札幌ではなんと毎月集まって親

【九期】
代表世話人・倉嶋克郎
十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催。「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日 沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面でミニ同期会。五月九日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年は七月十日旭川で開催。二十六年十月十五、十六鬼怒川温泉で二十三名参加開催。今期間は開催しませんでした。
(倉嶋 克郎)

【十期】(深川西校第十同期会)
十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。
(星野 友雄)

【十一期】
十二年八月選歴記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十

【五期】
不定期開催。最近開催なし。
(南 進)

【六期】(西高二九会)
代表・永野慶昭
われらが同士も八十一歳ですが今年もガンバリマス!
深川組は十四名。毎年旅行を実施してきたが最近昼食会を行っています。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まる。全体での開催は十七年札幌が最後。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催しています。二十二年は都合により二十九日開催が出来ず十九日の開催となりましたが二十三から二十七年は二十九日に開催出来ました。自分達の今後のこともあって市内の老健施設の見学を事業に取り入れたりしています。二十二年五月には札幌支部の総会も開催され深川からも数名参加しました。会報発行は継続しています。
(平田 廣美)

【七期】(深西七同期会)
三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五

【八期】
不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループが少数で開催。二十一年八月深川在住者。九月には札幌で開催した。
(清水 義弘)

【二期】
【旧制中学七期・深川西高二期の集い】
毎年秋に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催二十名参加。二十八年の誕生日で八十五歳。
(大久保博夫)

【三期】
東京は毎年開催。札幌は随時開催。深川は三名ですが元気なし。平成十二年を最後に開催していない。
(大鎌 幸雄)

【四期】(深川西校第四期生同期会)
代表・宮脇 敬
札幌ではなんと毎月集まって親

【五期】(旧制深中第五期会)
十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美瑛。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後

【六期】(旧制深中三期同期会)
毎年開催。十七年には記念誌を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。深川市内の有志は年に一回集まっている。
(利波 清一)

【七期】(旧制深中四期生)
平成十五年と二十年 故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後。全体の集まりは高齢の為、開催していません。今後の予定もなし。
(波多野 栄)

【八期】(旧制深中五期生)
十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美瑛。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後

【九期】
代表世話人・倉嶋克郎
十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催。「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日 沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面でミニ同期会。五月九日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年は七月十日旭川で開催。二十六年十月十五、十六鬼怒川温泉で二十三名参加開催。今期間は開催しませんでした。
(倉嶋 克郎)

【十期】(深川西校第十同期会)
十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。
(星野 友雄)

【十一期】
十二年八月選歴記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十

【十二期】(西高三十五年卒同期会)
十三年秋、選歴同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。
(板倉 克宏)

【十三期】(三六会・サボロウ会)
H十年HP開設 M L (倉山昭男)
<http://www2.big.or.jp/~yyclub/>
<http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>
十四年六月選歴記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催予定。
(佐藤 豊秀)

【十四期】
十六年五月選歴同期会を開催。深川ホテル
二十年二月天人峽パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を五月、九月に開催。首都圏同期会を十月に開催。(別頁にて詳細掲載)
(堀川 勝之)

【十五期】(深西三八会)
代表・菅原明義
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十二年なので、その間で一回開催予定です。
(杉山 一成)

〔十六期〕
〔深川西高十六期卒業同期会〕

五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。
次回は二十九年六月深川にて開催決定。
(星野 孟)

〔十七期〕
〔高十七期同期会〕

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十年に当たり前倒し開催。
(別頁にて詳細掲載)
(濱田 靖夫)

〔十八期〕
〔猪子会・いのね会〕

代表世話人・宮岸徹二
十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は毎年開催で二十年は九月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と開催している。
二十三年十月十六日 札幌にて開催。二十六年七月十二日開催。
(別頁にて観光報告記載)
(深沢 倬子)

〔十九期〕
〔深川西高十九期卒業同期会〕

代表・寺下良一
五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧駒別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で選歴同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。
(寺下 良一)

〔二十期〕
〔深川西高第二十期卒業同期会〕

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十

名参加(深川ホテル) 十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。
二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。道内在住者の有志で年三回、親睦ゴルフを盛会の中に開催しています。冬期オリンピック開催年には十一月頃東京で開催。今年夏期なので八月六日深川開催。
(小川 広見)

〔二十一期〕
〔二十一年同期会〕

十四年八月、十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。次回開催は平成三十年深川開催決定。
(梶川 寛)

〔二十二期〕
〔二十二年同期会〕

十二年卒業三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。
(広上)

〔二十三期〕
〔二十三年同期会〕

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。二十四年六月三十日板倉にて卒業四十周年を記念して開催。
(齋田 光章)

〔二十四期〕
〔二十四期同期会〕

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十二年で開催。現在は二年に一回札幌開催。
(伊藤 政雄)

〔二十五期〕
〔二十五期同期会〕

代表・齋藤 博幸
十四年十一月に札幌にて開催七十名参加。二十六年十一月選歴同期会を札幌にて開催。参加者八十名。
(佐藤 賢治)

期会を札幌にて開催。参加者八十名。
(佐藤 賢治)

〔二十六期〕
〔四十九年卒業同期会〕

十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、一昨年は二十人が集まり交流しました。
(松野 正明)

〔二十七期〕
〔二十七期同期会〕

十六年一月二日開催し七十四名参加。今年開催の予定。
(中川 博行)

〔二十八期〕
〔第二十八期同期会〕

代表・三ツ井隆博
三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。(別頁記載)
(増永 博志)

〔三十一期〕
〔三十一期同期会〕

卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。
(宮沢 孝司)

〔三十二期〕
〔三十二期同期会〕

二十四年一月二日、板倉にて二十八ふりに八十五名の参加者を得て開催しました。五年経過したので開催の方向です。
(三上 貴康)

を板倉にて開催。
(水上真由美)

〔三十四期〕
〔三十四期同期会〕

卒業二十年を十四年に深川で開催。卒業十五年を十年に深川で開催。
(田中 一幸)

〔三十五期〕
〔三十五期同期会〕

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板を開設中です。
(渡辺 哲男)

〔三十六期〕
〔三十六期同期会〕

深川西高三十八回生同期会
卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板を開設中です。
(渡辺 哲男)

〔三十七期〕
〔三十七期同期会〕

十四年に板倉にて開催。
〔三十九期〕
十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。
〔四十一期〕
二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日に開催。
(佐藤 之彦)

〔四十四期〕
〔四十四期同期会〕

二十三年一月開催。
〔四十六期〕
二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本大震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。
(佐藤 自真)

〔五十四期〕
二十三年六月十三日、ブランシユネージュに五十人が集合。
(及川 賢一)

ご協力頂いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっております。
記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの十五年間の積み重ねです。事務局では記載の期以外は把握して居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだからと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力していますがなかなか望みがありません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが。それぞれ期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。



秋の庭

我らの同期会

六回生

深川西高29会 (29年卒業)

深川支部の15回の総会を終えてからお互いのつながりを途切れさせない為に平成24年8月に第1号の会報が発行されてからこの4月で31号まで重ねてきています
深川西高29会

所感 支部長 永野 慶昭
皆様お変わりありませんか。昨年の総会で支部長に選ばれて以来、ご無音のまま過ごして参りまして誠に申し訳ありませんでした。80歳を過ぎ、毎日身体の不調、足腰の痛みに我慢しながら薬と一緒に生活しております。

先日、先輩の法話の中で、こんな話がありました。私より若くして亡くなった方は、身体の不調や足腰の痛み等、そんな痛みを余り感じ無かったのではないかと。老いや病気で身体の具合が悪いのは、私自身が長生きをした事であり、長生きを喜ぶ事ではないのでしょうか。老いという事、病気になるという事は当然の事で、今、生かされている事を感謝し一杯に生き抜いて行つて欲しいというお話でした。お互い、一病息災「寿命のある限り頑張つて生きて行きたい」と思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、昨年アンケートを実施いたしました。12名の方より回答がありました。その結果、現状からして、会の解散はやむなしが大多数を占めましたので、会の解散は、やむを得ない事と思われまして、その後のについては、年に一度ぐらい、都合の良い方で顔合わせ等(食事会でも)出来れば良いなと思います。来る総会に皆様のご意見を賜り、今後を決めたいと思います。

第7期同期会

平成27年10月9日(金曜日)。音江山麓の風光明媚な丘にある「レストラン・マザーズカントリー」で開催した。

前年札幌市で開催した同期会で小川慎一君、原進君が中心になって3年に一度開



催していた同期会で38名もの参加があり、大変な盛り上がりでした。日帰りで開催が名残惜しく、年々加齢して行く事を考えて3年に一度の開催を毎年の開催にしては...との提案があり、昨年を引き続き連続での同期会になりました。

当番の深川では在郷の者が鬼籍に入った健康を害したりで少なくなつてしまい、砂川市の安西淳子さん、滝川市の皆川敦子さんにも幹事になっていただいて準備を致しました。今回は趣を変えて母校訪問・音江連山の中にある「同窓会林」(約53町歩・修練道場跡・開校70年記念植樹地(エゾヤマザクラ)・沖里河山等を訪ね歩いてから、深川市内・妹背牛町などを一望できるレストランで会食を行うコースに決めました。

数度の幹事は中央公民館・手島 克君宅を会場に行つた。その都度梅沢順子さん、安西淳子さんの郷土色豊かな差し入れをいただきながら楽しくも慎重に進めました。音江連山を廻るには板倉克宏(12期生)さんにバスの手配等でお世話になりました。

しかし、今回は豊作年の裏年のせいとか、昨年あれほど盛り上がりがあったのに寄る年波のせいとか「来年は出席したい」と便りを書いた人が黄泉へと旅立ったり、思いもしなかった元氣印の面々が「病を得て残念だ...」との返信が届いて...

の13人の淋しい同期会は、台風23号崩れの翌日に当たつてしまい、冷たい雨の日の中での開催になった。
さて、今年は7月5日、13時から札幌での開催です。午後からのひと時が楽しい時間となるよう大勢の参加を望んでいます。
(岡部 誠二・記)

第11期同期会

平成27年7月20日(月曜日)プラザ富士屋

私たち11回生は、今でこそみんな真面目な人生を送っていますが、当時は西高始まって以来の問題学年といわれていました。学校の裏の用水溝の工事をしていたやくざと喧嘩し、自転車のチェーンを振り回して追っかけられたり、生意気な新人教師を呼び出してみんなどんぐつたり、集団で酒を飲んだり、修学旅行で京都に行った時飲み屋に入つて警察に捕まったり、汽車待ちでホームにいたとき熊本の高校生と喧嘩したり、集団でカンニングをしたり、女の先生をからかって泣かしたり...その度に担任の先生が頭を抱えていた息していただくが思い出されます。そんな強者(つわもの)も、もう75歳、今や病氣自慢や孫の話で何とも好々爺になつたものです。
今回は41



名の参加。今回でやめようかと思つていたのですが、5年後の80歳で又やろうとてことになりましたが：はたして。
(渡辺 貞之・記)

深西14期生「平成27年の動向」

- ①深西14期エールム会平成27年新年会
日時：平成27年1月21(水) 22日(木)
場所：北広島クラッセホテル
幹事：内海・広瀬・浦東
- ②深西14期生深川近郊在住者昼食会
(正午～3時)
幹事：坂無、和田、堀川
平成27年5月22日(金)
場所：プラザホテル板倉(19名参加)
平成27年9月4日(金)

詳細：深川市内在住者及び近郊に住んでいる同期生が少なくとも年に一度でも顔を見ながら近況交換ができる場があればなあとお願いと、最近、とみに夜の外出が億劫になつている現実を直視して、気軽に参加できる昼食会という形で計画しました。昨年5月と9月の2回開催されました。旭川・滝川、更に札幌圏には、友人ネットワークを使つても声掛けし、特に9月の昼食会は、時期を同じくして開催された秩父別中学同期会にあわせて参加された本州首都圏在住者もあり賑やかな会となりました。それぞれの近況報告会では、年齢も多発でした。昼間なので原則としてアルコールは自己責任、受益者負担でお願いしております。
(堀川 勝之・記)



③首都圏深西14期生同期会
日時：平成27年10月23日(金)
場所：酒造レストラン「玉」
(東京国際フォーラム店)
幹事：白井、日下、池井

17回生同期会の現況

①私たち17回生は、4年毎のオリンピック年に全員へ案内を出す同期会を開催してきました。平成28年がその開催年でしたが、平成27年が卒業後50年に当たり、一年早いけど全体の同期会を開催しては?と言うことになり、ちつぶゆう&ゆのご協力を頂き、平成27年10月31日の開催日にて案内を出しました。

当日は、58名(道外より12名)もの同期生が集い、初めての同期会参加者も数名いましたが、高校時代にタイムスリップしたかのような、楽しい楽しい一夜を過ごすことが出来ました。
②全員に案内を出す同期会と違って、各地区にてのミニ同期会も毎年開いています。東京地区(担当菊地一夫)、札幌地区(担当



大西芳人、旭川地区（担当太田強、深川地区（担当濱田靖夫）があり、ゴルフ会、忘年会、食事会等を開いています。

今年、5月3日に小樽で「花見&寿司を食べるかい」を催し、参加者全員一万歩を歩いた（菅野談）。おかげで天気も良く、最後の目的の寿司と生ビールは最高でした。

（濱田 靖夫・記）

第18期

猪の子会「関東の集い」

2015年11月14日 目白クラブ
「関東・猪の子会」からのお便りより
猪子会「関東の集い」を開催するにあたり、深川の「お米とりんご」を送って頂き出席者一同、皆様の贈り物のサプライズに感謝・感謝でした。

当初、9年ぶりの同期会なので、結構参加するだろうとの甘い見積もりで30人の参加を目論見、最低でも25名と踏んでスタートしました。何しろ、大部分は年金生活者なので、年金価格の6,000円を会費としたのですが、東京では常連の、川尾君、芝山君、佐藤君、大沼（角倉）さん、安藤（牛島）さんという中核メンバーが都合つかず、23名の申込みになりました。しかも、開催2日前に2人（中橋、早川）の欠席連絡があり、参加者は21名になりましたが、心配した当日のキャンセルがなく一安心でした。また、遠く青森から佐々木君、金沢から森さん（平山）が駆けつけてくれました。

宴会は、まだ仕事をしている仲間が多いので、午後5時に開宴し



で黒野君に司会進行をお願いしました。彼は胸につける名札も作ってくれて、その名札には卒業アルバムから写した当人の写真が貼られていました。だから、現在の白い髪や薄い頭と、50年前の若さ溢れる姿が比較できるアイデアでした。女性陣も年齢のサバは読めませんが、懐かしがっておりました。

一次会は集合写真の撮影時間を合わせて2時間ですが、各自の近況報告で大半を費やし、時間が少なくなり、後半には司会者から報告は30秒で話せと注文されたりして和気藹々と進行了。一次会のメは、「第9」のコーラスに参加しているという、松本君のリードで高校時代に戻って、元気に校歌を唄いました。

二次会はJ目白駅前の「笑笑」という大衆酒場の個室を予約していました。今度は座敷ですので、座って膝を交えゆつくりと談笑する時間でした。司会進行の仕切りを辻君に頼んでいたのですが、そんな必要もなく各テーブルで盛り上がりつつあるようでした。二次会は終電に近い、午後10時過ぎに終了しましたが、まだまだ元気の仲間が声か響いていました。後日、自分も良い仲間のいる「深川西高」を卒業してよかったとメールを寄せたメンバーもおりました。

何よりも、深川の皆さんからの贈り物は、同期仲間だけでなく故郷の「香りと味」を通して、家族に絆が広がるように思います。蜜入りのりんご、本当に美味しかったです。お米はこれから味わう予定です！本当に有難うございました！（大家 憲司・記）

高校22回生（昭和45年3月卒業）の同期会

私たちが卒業した昭和45年といえば、わが国が高齢化社会（65歳以上の人口が7%超。）に突入した年である。その高齢者に私たちは来年の3月末までには仲間入りを果たすことになる。

5回目を数えた同期会は、昨年の10月17日（土）に母校の地元である深川市で開催された。地元開催は15年ぶりで、恩師である澤村豊先生をはじめ43名の参加をいただいた。道外からも7名が駆けつけてくれた。



紅顔の美少年たちもいつの間にか「厚顔（うへ）」に、花も恥じらう純情可憐な美少女たちも、時の流れというものは残酷なものとは申しませんが。

開始に先立ち、故人となった学友たちへ黙祷を捧げ、帯広から参会してくださった澤村先生の乾杯のご発声でスタートし、参加者全員のスピーチのあと歓談に入った。

青春時代の淡い思い出、欠席者の消息、孫持病、仕事：あらゆる世間の話題が飛び交い、会場の日の出館さんの格別なご配慮による予定の3時間があっという間に過ぎ、全員で校歌斉唱をしてお開きとなりました。

余談ながら受付時に配付した「名札」には氏名のほか3年時のクラス名と卒業アルバム顔写真を転載していたが、それぞれの40数年間を瞬時に知ることができて大好評であった。（宮部 健司・記）

第24期 ミニ同期会

平成27年11月21日、出席者37名
ミニ同期会を開催しました。札幌赤レンガテラス2F「鶴橋」にて
二次会は5年先輩の岩崎さんの「ミュー

ジックパブはくもに」で生バンドの音楽で楽しみました。全体の同期会は5年に1回ですがミニ同期会は毎年開催しようという約束をして笑顔で別れました。（大平由美子・記）

第28期同期会



我々28期の直近同期会はプラザホテル板倉を会場に2015年8月1日（平成27年）開催されました。当日は同期88名、恩師2名の出席で盛大に開催されました。

アラカンと呼ばれる我々世代の当日の話題は（年代の近い皆さんもほぼ同じでしょう）青春真っ只中の高校時代の話より、逝ってしまった同級生の話と孫の話と、健康の話と：（笑）。ひとり1分間スピーチを恒例としていますが、これがまた面白く、昔の面影のないやつばかりで：（笑）

28期同期会は深川開催と札幌開催を交互にし、5年に1度開くことになっています。

旧クラスの幹事がしつかりしており行方不明同級生の数もわずかです。なんとか各回100名の出席をみる同期会にしていきたいと思っています。（増永 博志・記）

深川西高第33回卒業生の集い

2015年8月15日（土）プラザホテル板倉にて

深川西高第33回卒業生の集い、第5回 三元気でやっつる会を開催しました。参加者は45名。

担任も、野嶋良夫先生、大垣内忠道先生、高田正昭先生、湯川界先生、押部俊広先生らの出席を頂き、5回目にして初めて参加した者もあり、誰かわからない風貌に驚きました。

次回開催は、2019年。また、元気に会いましょう！
「元気でやっつる会」 会長 紺野 浩治





第十九回 同窓の夕べ盛大に開催

同窓の夕べも19回を経過しました。今回、吹奏楽部が全道大会出場のため例年行っている演奏が出来ず中止となりましたが応援団が口上を述べたりして楽しい会となりました。

司会…池田由美子さん(38期)
挨拶…実行委員長・宮岸徹二さん(18期)
校長…岡戸校長

同窓会長…大西道祥
乾杯…大久保博夫(2期)

じゃんけん大会…(38期) 増永
宮岸実行委員長・大西会長・山下貴史市長を相手に超豪華賞品ゲット。

同窓会お名前ピンゴ…(38期) 代理で48期飯尾さんを中心にして軽妙な頭出しで進行

豪華賞品に追加して18期から特別賞10本提供。大抽選会は48期担当で星野さんが進行。

合計100本。深川の特産品を網羅して準備。最後に残念賞はお決まりの「ワロコ団子」

イベントが盛り上がり時間が押してきたがここで実行委員会に参加するのもこれが最後ということ。18期が自分達へと同窓生のご健勝を祈念して口上を行う。学生服に身を固めた偲侶の高源 彰さんのほろぼろする熱演で会場は大盛り上がり。応援歌として学生の歌を全員で熱唱し、三々七拍子に合わせて会場から万来の拍手を受けて盛り上がった。

興奮は収まりつつ引き続き出席者全員で校歌の斉唱。合唱の締めは1回生の中村さん、沼田さんのお二人で旧中の校歌を高らかに歌って頂きました。

最終章はタスキの引き渡しで次期実行委員長よりメの挨拶と次回への決意表明、更に引き続き次年度も皆さんに参加して欲しいと呼びかけをして楽しくて美味しくて、酔っぱらって終焉となりました。

終了、8時20分。参加の皆様大変ご苦労様でした。



受付



豪華料理並ぶ



乾杯は大久保博夫さん



宮岸実行委員長



司会・池田さん



手拍子よろしく～



高源応援団長 口上とエール



旧中校歌斉唱



寺下良一次期委員長



タスキ引継ぎ

同窓の夕べ 開催のお知らせ 第二十回「同窓の夕べ」を次の通り開催致します。

日時 平成28年9月17日(土)
 開演 午後6時(吹奏楽部の演奏)
 開会 午後6時半
 会場 プラザホテル板倉(深川市3条6番)
 会費 2,000円(当日券あります)

実行委員会は十九期、二十九期、三十九期、四十九期、五十九期が担当です。実行委員長は十九期の寺下良一さんです。
 九月の第三土曜日に固定され、ゴルフコンペも同時開催でいよいよ中身が濃くなりました。お名前ピンゴ完成で「ピンゴ～」で挙手してステージに走りだす、ジャンケンの勝ち残り組は二次会の費用にしたり、趣向を凝らした進行と考え抜かれた賞品の抽選会での盛り上がりで朝睡を深めています。遠方の同窓生の方も都合が付きましたらこの日程を合わせて参加して戴けたら嬉しいです。多くの同窓生の参加をお待ちいたしております。

学校行事

コーラス大会に寄せて

校長 岡戸 康浩

今年も伝統あるコーラス大会が開催されることになりました。今年も60回となる記念大会となります。このように継続実施できますことは、ひとえに保護者・地域の皆様の支援の賜と存じます。心より感謝申し上げます。

60回は、人言えば還暦(60歳)となります。生徒の皆さんには、この大会の原点を再確認して下さい。昭和31年度の第1回大会が行われています。1回目の名称は、コーラスコンクールでした。2回目から今の名称になっています。最初の頃は、アカベラ(伴奏なし)だったそうです。昔の写真を見ると、昼休み、放課後に中庭に出てグループごとに歌っている風景が残されています。年度当初の全校あがりのコーラス大会を通じて、クラスの団結、仲間作りが始まり、学校祭への取組につながっていくのです。

今年の方針に「クラスや学年などの親睦を深めながら、互いに刺激し合う良い関係を築くよう努める。」とあります。行事などの関係で、練習期間が9日間という短い期間しかとれていません。そして限られた練習時間の中で、クラス発表、連合発表がなされることは、とても困難なことが予想されます。

今年の方針に「クラスや学年などの親睦を深めながら、互いに刺激し合う良い関係を築くよう努める。」とあります。行事などの関係で、練習期間が9日間という短い期間しかとれていません。そして限られた練習時間の中で、クラス発表、連合発表がなされることは、とても困難なことが予想されます。



大会風景



熱唱

第60回コーラス大会に招かれて

加藤 廣一(11期生)

昨年に続き、山岸さんと二人、同窓会の紹介で審査員として招かれました。

生徒会がすべてを進めていること、全員が約束を守り、自分たちのこととして参加している様子は、伝統を感じました。前半は学年縦割りの連合合唱で課題曲は「HEIWAの鐘」でした。ピアノが高らかに鐘の響きを奏でて歌いだす曲で、この時代にふさわしい選曲でした。4つの連合とも仕上げに自信をもった立派な演奏で、審査員泣かせでした。

後半はクラス対抗の自由曲でした。学年の力量というか真緑が示されました。しかし、いくつかの下部学年が上級学年に食い込み、大いに大会は盛り上がりました。自由曲では、選曲が大切なことと、「ことばを歌にする」ことが出来るならと伝えました。

60回コーラス大会ということでは、長寿の選歴ですが、在学中に一二回大会を歌った者が感慨にふけるもののように、若者たちはサラリ!!とやり過ごしたように感じました。ただ、今回は60回他に「歴史に残る」年として記憶に留めて欲しいことがあると語りかけました。すぐに「18才選挙権」と反応がありました。嬉しく思いました。本当にこの初年度ですので、権利を大切に行使してほしいのです。そして、ぼく達の時より大きく、賢い高校生に成長してほしいと思います。

山岸久仁子(27期生)

ここ数年「同窓の夕べ」で校歌のピアノ伴奏をさせていただいている関係から、昨年コーラス大会の審査員の依頼が来ました。大先輩の加藤廣一さんと一緒に言うことだったので勇気を出し引き受けました。今年は2回目でしたので少し余裕も出て心から楽しんでまいりました。

生徒たちは連帯感を高めるためでしょうか、担任の名前付いたTシャツ、全員同じイラストのTシャツなどクラスごとに統一の服装をし、指揮者を真剣な眼差しで見つめながら一生懸命歌っていました。

【第六十七回学校祭】

今年のテーマは「私たちの蓄よ、花開け」

日程
七月九日(土) 開祭式・合同演劇・吹奏楽・アピール
七月十日(日) 連合演劇・緑日・HRステージ・行燈行進・行燈フィナーレ
七月十一日(月) 総後片付け・開祭式で結果発表

三年生は最後の祭り。垂れ込めた雨雲にも負けず、校舎前の駐車場は創意と工夫を凝らした独創的なダンスや音楽で溢れるような若さがはびこって別世界の空間です。夜中から降っていた雨も出発前には上がり、色彩豊かな行燈行列では組別に声を掛け合いながら昔と同じように市内を練り歩きます。掛け声が雨の気配を吹き飛ばし、厚い雲のおかげで行燈に火が灯ると輝きを増します。声からして時々見える夕日の中を学校へと歩みを進めます。帳が下りる中、火花を見上げながらフィナーレへと誘います。こうして生徒の熱い夏も終わりました。



審査委員

採点はハーマニー、発音、表現、態度の合計点になりますが、態度などはどのクラスも大変立派でした。学年が上がるにつれハーマニー、表現は優れ、短期間でよくここまで頑張ったなと感心させられました。順位発表の時の盛り上がりは大変なもので、ステージで表彰状を受け取った生徒に対し、パフォーマンズ要求を手拍子、それに応じてちよつとしたポーズ、そうするとまた大喝采！若いって本当に素晴らしい、とつくづく思った光景でした。この生徒たちによって、今もコーラス大会が引き継がれていることに感動を覚えました。最後に60回という大切な節目に係わる機会を与えてくださった方々に感謝いたします。



行燈



自習黙々集中7時間

高校体育連盟大会成績

全道大会

【陸上】	室蘭市		
[男子]			
100m	3-2 長内 大貴	予選敗退	
200m	3-2 長内 大貴	予選敗退	
110mH	3-1 奥山 耀太	予選敗退	
400mR	1-4 四十坊・3-4 近藤・ 3-1 奥山・3-2 長内	予選敗退	
走幅跳び	3-2 長内 大貴	6位 全国大会出場	
	1-4 四十坊佳樹	予選敗退	
走高跳び	3-1 奥山 耀太	NM	
円盤投げ	3-3 吉澤 優作	予選敗退	
やり投げ	2-4 平林 智宏	予選敗退	
[女子]			
100m	3-2 福田奈留美	予選敗退	
400m	2-1 馬場 絢女	予選敗退	
800m	2-1 馬場 絢女	準決勝敗退	
400mH	1-4 富岡 望優	予選敗退	
5000mw	3-3 柴田 梨乃	5位	
400mR	2-1 松本・2-1 馬場・ 3-2 福田・2-1 今田	予選敗退	
1600mR	1-2 奥谷・3-2 福田・ 1-4 富岡・2-1 馬場	準決勝敗退	
走幅跳び	2-1 今田 玲菜	DNS	
円盤投げ	2-4 吉岡 菜恵	予選敗退	
やり投げ	2-4 吉岡 菜恵	予選敗退	
7種競技	2-1 今田 玲菜	3,946点	
DNSとは、レース競技にエントリーした選手が何らかの事情でスタートしなかった場合のこと、欠場、棄権。			
【バトミントン】	伊達市		
[男子]			
団体		北海道ベスト3	
ダブルス	庄司 悠真・岡田 汰一組	2回戦敗退	
[女子]			
団体		北大会準優勝	
ダブルス	花田 麻由・内山 真希組	北大会準優勝 全道決勝3位 全国大会出場	
	舟津 彩夏・西村まりや組	2回戦敗退	
シングルス	花田 麻由	北海道準優勝 全国大会出場	
	内山 真希	3位 全国大会出場	
	舟津 彩夏	2回戦敗退	
【弓道】	旭川市		
男子団体		一次予選敗退	
女子個人戦	鎌田 祐実	予選敗退	
【バレーボール】	函館市		
[女子]	北見柏葉、函館大妻に敗れ予選リーグ勝ち抜けず		
【卓球】	伊達市		
[女子]			
個人戦	木田	1回戦敗退	
【硬式テニス】	帯広市		
[女子]			
団体		2回戦敗退	
個人	佐々木	1回戦敗退	
【放送局】	千葉市		
	ラジオドキュメント部門	入賞ならず	
	研究発表部門	入賞ならず	
【写真】	帯広市		
	澤田 唯 「ひなたぼっこ」		



課外活動

美術部・写真部合同展
2016年3月16 ~ 31日
アートホール東州館市民ギャラリー

インターハイ出場



バドミントン

花田麻由(3年)内山真希(1年)
北大会女子Wで準優勝。全道で3位となる。
シングルスにも出場。

陸上

長内大貴(3年)走り幅跳び:6m63cmで6位入賞
本来は100m・200mも兼ねるが幅跳びに絞った。



【写真:北空知新聞社・芳形吾一記者(56期)提供】

鉄をも溶かす炎を燃やせ： 燃えている 同窓生紹介

高田 由基（54期）

深川市多度志出身で、名古屋市の小学校教員、高田由基さん（32）が、6月26日のサロマ湖100キロウルトラマラソン（オホーツク管内湧別町



高田さんは多度志小、中学校時代、陸上競技のクラブなどがなかったことから、自己流で長距離走の練習を重ねた。「小さい地域や学校では自分自身で考えて行動する必要があった。その経験が（ペース配分などの）計画性が勝負を決める100キロマラソンにつながっている」という。深川西高、東京学芸大では陸上部に所属。大学時代は目標の関東

などで3位となり、世界選手権への6回目の出場権を獲得した。「多度志という小さなマチで育ったことや、深川のスポーツ合宿で実業団の選手たちの走りを見たことが、100キロマラソンの原点」と話し、世界選手権での初のメダル獲得を目指す。

インカレに出場できず、大学4年の2006年、偶然目に留まったサロマ湖マラソンに初挑戦。「スピードよりもペースを守ることが重要」という100キロマラソンで才能が開花し、翌年に世界選手権に初出場。一昨年は5位（6時間46分47秒）に入賞した。今回のサロマ湖マラソンでも「ペースを守れば大丈夫と自分に言い聞かせた」。先行する選手たちを次々に追い越し、世界選手権出場圏内の3位を確保。地力を確実につけてきて今回も自己ベストとなる6時間40分37秒を記録した。

「負けた方ははるかに多い。その悔しさを次の挑戦につなげてきた」と高田さん。過去の世界選手権では届かなかったメダル獲得へ向け、教師を務める傍ら、練習に打ち込んでいる。（北海道新聞深川支局 関口 潤記者情報提供）

我等が同期同好会

それぞれの期で同好の士が色々な事を楽しんでいる事を毎回紹介していますが、今号ではまたまたその後の経過を紹介します。

15回生・38スキー同好会 今年も再会、 3泊4日スキーツアー

いつものように、いつもの場所、いつもの友が、今年も28年2月24日～27日まで4日間、我がふるさと深川「まあぶ」のコテージに今回も岐阜から棚橋君が参加し、男子5名、女子5名、計10名が集結！1泊目は鍋を囲み、お互いに健康を確認し合い、明日からのスケジュールの打ち合わせ。

前回は節目の古希の（70才）ゼツケンをつけての滑走でしたが、今回は一泊

多く、初日はカムイスキー場で滑走。午後には富良野スキー場へ移動。4日間も体が少々不安、昨年と何かが違うぞ！そうだ・一年歳を取ったのを忘れていた。

落ちる体力、気力と戦う。まずは怪我の無いように滑ろう！を合言葉に夜の懇親会に備える。振り返れば第1回目は平成19年3月、あのニセコに1泊2日で男子2名、女子5名（内初心者1名含む）7名での宿泊スキー合宿が始まりで、以来、数々の伝説のエピソードが生まれる。

以後、今年で節目の10回目、怪我もなく良く続いたものだ。来年も皆さんそれぞれに健康でスキーとアフタースキーを楽しみにしています！

○写真はカムイスキーリンクス頂上にて

石黒 計



今年も元気に



夏の庭

平成27年度 一般会計決算報告

収入の部

項目	金額	備考
前期繰越金	492,426	
入会金	204,000	136名×1,500円
振替金	0	
雑収入	798,025	会報協力金等
合計	1,494,451	

支出の部

総会費	85,698	
役員会費	47,552	
会議費	70,146	
交際費	179,000	全国・全道大会、歓送迎会
事業費	695,359	会報、校旗、吹奏楽等
通信費	8,221	
印刷費	8,614	
広告宣伝費	10,800	新聞広告
事務費	0	
雑費	5,510	
次期繰越金	383,551	
合計	1,494,451	



成長したアオダモ



冬の校舎

にてお申込みください。
口座番号は
0277012145435
加入者名
北海道深川西高等学校同窓会



寄稿・振り返って今

「旧中5回生」80代半ばのエイセイ集
第1集から」

(前号で掲載できなかった寄稿文を
今号で掲載いたします)

札沼線と丸瀬布の森林鉄道と 札幌の鉄道高架

平林 勇

私は昭和四年七月下旬、父平林平二、母フミの長男として竜電郡北竜町(当時北村)字美葉牛の母方の祖父父母の家で生まれた。因みに父も平林家の長男だったが、父方の祖父父母の家とは五〇〇米くらい離れたところにあった。私が生まれた年の前年、父方の祖父父母は美葉牛の家から四キロ余離れた北竜村字岩村に五町歩の土地を購入し、いわゆる通い作のようにして両方の田畑を耕作していたという。もともと岩村の土地にも小さな小屋を建て、耕作期の夏期はそこに寝泊まりしていたという。昭和十一年ころからは私の小学校への通学のことや、美葉牛の祖父父母の家が手狭になったことなどから夏冬ともに岩村で過ごすようになり、当然私も父母に従ったから、私は美葉牛での生活の記憶はあまりない。

(一) 札沼線

私が初めて汽車に乗ったのは、昭和十年十月だと思ふ。というのは、昭和二年、石狩沼田から建設された札沼線の敷設工事は昭和十年十月三日札幌まで全線が開通し、私の家の最寄り駅碧水から乗り換えなしで札幌まで行けるようになったので、祖父が初めての内孫である私を連れて札幌へ出かけたからである。当時札幌には祖父の長女私の父の姉が住んでいたのだから、二、三泊して北竜村岩村に帰った。札沼線での車中での思い出はあまりない。ご存知のように札幌はトンネルが一つもなく、鉄橋も大きなのは石狩川を渡る一橋のみ。車窓から見る風景も碧水と同じような田園が続くという感じだったせいだと思ふ。それより札幌で見た大通公園や豊平橋初めて乗った路面電車が珍しかった。しかしこれは本題から外れるので省略する。札沼線のもう一つの思い出は、少年期、

札沼線の汽車の汽笛を時計代わりにしてきたことである。岩村の自宅から碧水駅までは約一キロの距離。一日四往復する列車が碧水駅を発車する際の「ポー」は小学校の行き帰りや、農作業の手伝い中でも良く聞こえあ、もうすぐ昼(正午の意)だから、家に行つて昼飯にしよう。」と言いつつ家に行つた。

昭和十七年、私は運良く、立深川中学校に合格、いわゆる汽車通をするようになった。私の記憶によれば、私が札沼線の汽車で通つた約二、四年四月、列車の事故や荒天で列車がトマツタというところは一度もなかったと思う。もともとこの二年余のうち半年以上は勤労奉仕で札沼線を利用していないから断言はできぬが……。ところでこの札沼線は太平洋戦争後半の物資不足のおおりに受け廃止されることになり、昭和十八年から線路の撤去が始まった。撤去は札沼線の中間部石狩追分〜石狩月形から始まり、昭和十九年七月二十一日限りで石狩沼田〜石狩追分間も運転中止となった。そしてそのレールなどは当時日本領だった樺太に上敷きのほうへ持たされてきた。その線路敷設に用いられると聞かされた。われわれ石狩追分駅〜北竜駅間の深川中学校への汽車通中学生は、三、四年生で十数名だったが、もう札沼線も無くなるといふことから、鉄道職員の特例の計らいで昭和十九年の六月か七月(正確な月日は失念)、毎日、数名ずつを機関車に乗せて運転の見習いをさせてやるということになった。その方法は、六名くらいを一グループにし、三名は機関助手(いわゆる釜焚き)、他の三名は運転見習いということ。中学からの下校時、十七時過ぎに石狩沼田を発車する機関車にまず二名の通学生が乗り込み、一名は機関助手として石炭を投入する役。もう一名は運転見習いとして運転手席で列車を動かす役。この二名が沼田〜北竜間を走らせ、北竜駅に着いたら他の二名と交替してその二名が同じように碧水駅まで乗務。碧水駅では他の二名と交替して和歌まで乗務するというもの。この二名のうち運転見習いの役は、必ず前日までに機関助手の役を経験している者ということ。したがって、一人で機関助手(釜焚き)と運転見習いと二度機関車に乗り込むことになり、蒸気機関車ですから水蒸気の圧力

が十分かどうかを確認してレバーを引きながら機関車の動輪を駆動し始めるのですが、一番難しいのは列車の停車操作で、次の停車駅のとれくらいい前手でブレーキをかけ始めるかということでした。それはその時の列車の速度、牽引している客貨車の数量など色々な条件によって異なるからです。このことが一番記憶に残っています。さて札沼線がなくなつてから、夏期はバスで石狩沼田まで通うことになりました。

(二) 丸瀬布の森林鉄道

話変わつて、われわれ五期生の殆どは昭和十九年七月下旬から八月下旬までの一ヶ月、丸瀬布の夏山造材に勤労動員された。私は一番奥の本流、丸瀬布駅から本流まで弁慶号のような機関車に引かれた貨車が狭々軌のレールの上を走っていました。真夏だというのに夜の寒かったことと、朝の洗頭の川水の冷たかったことは忘れられません。ところで本流は三、四年生合わせて百名前後だったと思いますが、そのうち十数名が線路敷設班というわけか私はその線路敷設班に入られませんでした。毎朝、飯場からさらに一キロ上山奥までトロッコにスコップ、ツルハシ、土砂運搬のためのモッコ、鋸、ハンマー、岩石に穴をあけるためのタガネ、金槌、ダイナマイトなどを積んで押していくのでした。作業現場に着くと、これらの道具を下ろし、トロッコも線路から外してよいよ作業にかかる。大事なものを忘れていました。線路のレールとレールの内側の長さ(これを「ゲージ」といふ)を測るスケール、というのは、作業のために支給されるのは右記道具のほかにレールとそれを枕木に固定する犬釘、山の岩石をふつとばすためのダイナマイトと信管、それとこのゲージスケールのみで、その他は枕木をはじめ橋梁架設のための材料などの一切は現地調達ということだったので石炭でなくマキ薪だったのですから……。

ここでちょっと線路のゲージについて付記しますと、ゲージは、広軌(一、五二四ミリメートル以上の軌道)、標準軌(一、四三三ミリ)、日本の新幹線や路面電車、世界の鉄道の半数以上がこれ)、狭軌(一、三三三ミリ以下の軌道、J.R.の在来線はこの狭軌に属し、一、〇六七ミリ。狭軌のうち七六二ミリ以下

のものを「狭々軌」ということもある)に分類される。丸瀬布の森林鉄道はまさにこの狭々軌で、その線路敷設でした。われわれ線路敷設班は、毎日ダイナマイトで山を崩し、谷はその土で埋め、河川には税地調査の木材を使って橋を架け、同じく現地調査の木材を伐つて枕木とし、レールを敷きゲージ用スケールで測りながら大釘でレールを固定するという作業でした。平均して一日当たり五〜十メートルを敷設したと記憶します。

従つて、私はこの昭和十九年だけで、蒸気機関車のカマ焚き、運転、新しい線路敷設を経験したことになります。

(三) 札幌の鉄道高架

さて、私は深中四卒で北海道第一師範学校本校に入学、昭和二十四年から三年間、小中学校での教員生活を経て、昭和二十七年中央大学法学部三年に編入学、昭和二十九年大学を卒業して札幌市役所に入りました。土木、北海道大博覧会事務局、下水渠入事、国民年金、再び土木などの部局を経て、札幌市が政令指定都市になった翌年の昭和四十八年四月、建設局の鉄道高架部長を命ぜられました。それは道路と鉄道交通の利便と安全を図るため札幌駅を中心とする函館本線を高架にするという事業で、工事に十年以上の歳月を要し、八〇〇億円程度の事業費がかかるというもので、当時としては全国的にも大規模な鉄道高架事業でした。このポストは私が初代で、二年三ヶ月の在任でしたが、中央官庁や旧国鉄との協議と地元対策が主な仕事でした。このうち国鉄との協議では、深中三年の時の経験すなわち、①汽車通だったこと、②機関車を運転したことがあること、③狭々軌だが鉄道敷設工事に携わったことがあること、この三つが大きな力になりました。この函館本線高架事業は結局、札幌、桑園、琴似の三駅を高架にすることにし、昭和五十三年に正式着工し、平成二年九月に総事業費八七億円で竣工しました。因みに、その後学園都市線(札沼線)は別の事業として、八軒駅、新川駅、新琴似駅も高架になっています。

ですから、札沼線、丸瀬布の森林鉄道、札幌の函館本線高架事業、この三つは私の頭の中では今でも大きく繋がっている事柄なのです。

どろやな

(編集後記)

▼前庭のミズナラの木から落ちたバケツ二杯のドングリを記念植樹の時に山に時きました。その苗木が二年目の冬を越しました。下草刈の時に間違つて刈らないうようにと八十箇所ほどピンクの布をつけてあります。斜面はピンクの帯になつていて壮観です。千の風になつた時、大木になつたミズナラをサワサワと撫でることを夢見て、見回りの時にはたくましく越冬したドングリから生きている気力を頂いています。

▼早いもので回を重ねて漸く第八号の発行が出来ました。手刷の会報発行から通巻十八号になります。先号からカラー版になりました。カラーのこともあり写真の顔の判別が付きやすくなりました。見やすい会報になったのも協力戴いた皆様のご支援の賜物です。本当に本当に感謝申し上げます。

▼第五号から全員に送付していません。二年毎にご協力頂いた方には毎年お送りしています。その他の方は四年に一回となります。又会報に同期会の開催が掲載された期の皆さんには全員にお送りしています。情報提供、寄稿等の提供を含め引き続き会報発行にご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

▼二〇一八年には開校八十周年を迎えます。今から先のことを考えなければいけないのですが、地方創生の掛け声は「地方早世」に向かつて進んでいるようで、少子化による生徒数の減少は顕著で学校の存立をも危ぶまれる状況です。秩父別高、深川農高、妹背牛高、沼田高と次々と消えていったのは残念でなりません。でも新設される大学があつて、何か、どこかが間違っているようで声も出ません。

▼どうも今の世の中国のトップからして軽いやいまいわしの言葉が口からほとぼりしている様です。約束と違ふことが多く、作偽的な言葉にだまされてばかりですが、我々もすぐに痛みを感じるわけではないので過去のことでも忘れがちです。誰も引き止めることが出来なかつた過去の歴史をも繰り返しているようです。やはり流れが怪しい方向に向いているようですね。

▼同窓会事業の未永い発展継続の為に、今後とも宜しくご支援をお願いいたします。(溝口 信義・記)(18期)